



おの かつ ゆき
小野 可津之さん
国東高等学校双国校 商業部

小野 可津之さん(1年生)は、簿記などの資格所得が就職する際に有利になると考え、国東高校双国校に進学しました。入学して直ぐ入部した商業部では、マーケティング活動を行い、国東に関連する商品の販売や国東から出店した方のお手伝いをする中で、お客様と接する難しさを学びました。また、ICT講座では、地域の高齢者や中学生に対してパソコンやタブレットの操作方法を教えることで、授業で学習した内容が地域の役に立っていることを実感できています。

可津之さんは、「先輩達から始まった地域ソーセイプロジェクトが、多くの人に注目されています。次期商業部長として、先輩達の成果をしっかりと引き継ぎ、皆を引っ張っていきたいです。そして、双国校で商品開発したいと多くの人に思ってもらえるように、全国から注目される魅力的な商品を生み出したいです」と話していました。



みぞ べ もと お
溝部 元生さん
有限会社 溝部電気設備(武蔵町古市)

溝部 元生さんは、昭和50年にミカン栽培を辞め、大分空港の電気保守の仕事に就いたことをきっかけに、本格的に電気工事のことを学ぼうと、専門学校に入学しました。卒業後3年間、他の電気工事会社に勤め、昭和55年に有限会社溝部電気設備を設立しました。当初は、一般住宅の電気工事が主でしたが、徐々に公共工事の受注も増えていきました。また、取引先の要望もあり、独学で資格を取得して、水道工事や土木工事も併せて行うようになりました。そして、今では太陽光や住宅リフォーム、ケーブルテレビの宅内工事などの事業にも取り組んでいます。

元生さんは、「防犯灯の保守管理など地域に密着した仕事を多くいただけたからこそ、今まで続けることができました。これからも地域に必要とされる会社で在り続けられるよう努めていきます。また、次の世代に引き継ぐ体制づくりにも力を入れていきたいです」と話していました。



左から2番目が妻のみち子さん、3番目が元生さん



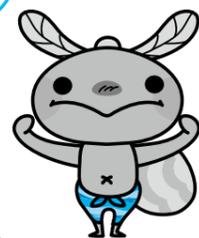
いわ さき ふみ あき
岩崎 史晃さん
くみに農産加工有限公司(国見町榎来)

岩崎 史晃さんは、大学卒業後に語学留学した経験を活かせる仕事がしたいと考えていたところ、くみに農産加工有限公司が海外からの原材料仕入れを、現地で直接交渉のできる人材を探していることを知り、4年前に入社しました。入社後は、会社の主力商品の原料となるタマネギの調達のため、ニュージーランドやアメリカの大規模農家に直接交渉して買い付けをしています。また、6歳から始めた陸上競技では、九州インカレ10種競技優勝の実績を活かし、国東市小学生陸上教室で投てき競技の指導を行っています。

史晃さんは、『『良い製品はよい原料から』の会社方針どおり、製品ごとに適した原材料を調達できるように精進し、会社の事業拡大に貢献したいです。また、陸上では、自分が指導したジャベリックスローの選手が、2年連続で県大会優勝を果たしており、もっと多くの子どもと関わられるように、指導の時間を増やしていきたいです』と話していました。



史晃さんは、『『良い製品はよい原料から』の会社方針どおり、製品ごとに適した原材料を調達できるように精進し、会社の事業拡大に貢献したいです。また、陸上では、自分が指導したジャベリックスローの選手が、2年連続で県大会優勝を果たしており、もっと多くの子どもと関わられるように、指導の時間を増やしていきたいです』と話していました。



各分野で光を放っている 人にスポットをあてる

国東の輝きひと

Vol.9



ほり もと ひろ し
堀本 浩志さん
(国東町富来浦)

堀本 浩志さんは、高校1年の時に父久信さんが台風で怪我をしたため、農作業をするようになりました。在学中は、通学前や下校後の農作業で、学業との両立が苦しい時もありましたが、学校や親戚、地区の方の協力によって乗り切ることができました。高校卒業後は、米の栽培面積の拡大に取り組むため、積極的に大型機械を導入し、今では約15ヘクタールまでに増えています。また、今年から高温障害による米の収穫量減少の対策として、品種改良した業務米の栽培に取り組んでいます。

浩志さんは、「父は怪我で農作業ができなくなりましたが、品種改良など農業の研究は続けており、知識や経営の面でサポートしてくれています。これからも二人三脚で農業経営に取り組み、地域の農地を守る担い手として、頑張っていきたいです」と話していました。

